

平成27年3月29日 三自治会防災訓練 「地震発生そのときあなたは？」グループワーク集計結果
(ご家庭で検討する時の参考にして下さい)

	3分後	3時間後	3日後
自 助	<p>【日頃の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★家具の転倒防止対策をしている(10件) ★非常持ち出し袋の準備(5件) (貴重品、保健証、必要最小限の身の回り品) ★枕元に常に履物、懐中電灯当を置く(4件) ★食器棚等ガラス面に飛散防止対策(3件) ★呼び笛、懐中電灯等を用意している(3件) ★寝室に物を置かない ★コンセントにカバーを着け火災防止 ★家具の置き方を工夫している ★戸棚の扉が開かないよう器具を設置 ★ヘルメットを用意 <p>【災害発生後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★机の下などに身を隠す、安全な場所に身を置く等、身の安全確保(19件) (2回のトイレに座布団を持って入る) ★玄関・窓の鍵を開け避難路を確保(11件) ★揺れが治まったらガスを止め元栓を締める(11件) (出火の有無確認含む) ★揺れが治まったらブレーカーを落とす等(6件) ★飲料水、非常食を持ち出せる用意又は持出す(6件) ★テレビ、ラジオ、携帯等で情報収集(4件) (揺れの大きさに従って情報を得る) ★油(石油)等を点検する ★取りあえず様子を見て、家に留まるか考える ★怪我等確かめる(家族等含む) ★家から直ぐに飛び出さない ★ヘルメットをかぶり頭部を保護する ★屋根瓦が落ちない庭に出る ★建物の点検後、近隣状況の確認 ★道路状況の確認 ★外にいる時は、安全な場所を見つける ★猫をゲージに入れる <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ガラス戸のそばを離れる ★非常袋は一つにすると重いので分散する 	<p>【身の回り、家の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ブレーカーを落とす(2件) ★消火器で初期消火(2件) ★家の外の水道が出るか確認する ★長いホースの水撒きを用意する ★庭の物置のくぎ抜き、鋸を出す ★家で用意してある救急袋を手元に集める ★救急用の非常食を手元に置く ★非常時持ち出し【現金、懐中電灯、)をまとめる(リュックサック) ★避難経路と避難場所を確認する ★水道が出れば、取りあえずバケツに取る ★周りの情報を聞く <p>【安否確認(家族等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★別居の家族への連絡(2件) ★家族の安否確認と、自宅周辺の状況確認 ★携帯の災害ダイヤルで家族の確認 ★家族(別居)の安否確認 ★家族の確認、避難場所に行く ★家族等の体調の確認 <p>【避難】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★最低限の荷物だけ持って国大へ避難(7件) ★常盤台小学校に行く(5件) ★広い場所(公園等)に避難する(4件) ★火災現場を確認し、反対方向へ逃げる(3件) ★ヘルメットを被り常小又は国大へ避難(2件) ★いっとき避難場所へ行き様子を窺う(2件) ★人の手を借りなければならぬ場合どうするか考えておく ★これからの行動について家族で話し合う ★高齢なので自力避難が困難、援助してもらいたい ★家にいる ★ラジオ等で情報を確認する ★テレビ、ラジオで情報を得て場所を検討する ★煙の方向によって国大か常盤公園に逃げる ★避難場所へ行く道が安全か確認を確認する ★風上の方角に行動する ★家族の集合場所を話し合っている(3件) ★コミハに逃げる ★避難順位①コミハ、②自治会館、③国大 ★火災から遠い場所に避難する ★防災用の品々の確認をし近隣の様子を ★飲食物を出す ★火災発生の有無の確認 ★緊急連絡先の確認 ★風上に逃げる道を探して逃げる ★非常階段を使って脱出(防災服を着用) ★避難用バッグを持ち出す(薬を忘れず) ★隣町の避難場所でも構わず安全な場所に避難 ★犬をカートに入れて脱出(食料を入れる) ★広い場所に留まり安全の確認をする ★じっと静かに指示を待つ ★トイレ、寝るとこ、食事のことを考える ★ライフラインの復旧の確認 ★状況を見て避難するべきか、自宅に留まるべきか判断する ★家族の無事を確認後、避難所生活に必要な物をかき集める 	<p>【家が無事な場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★自宅が大丈夫な場合は家にいる ★家が壊れてなかったら、家の近くにいる ★家が大丈夫か見に行く、大丈夫な場合帰ってガス電気が使えるようなら家で過ごす壊れてたら避難場所に行く <p>【家に破損は箇所ある場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★自治会館の利用 ★家がダメなら他の所でアパートなどを借りるようにする ★常盤公園に避難、その後国大へ避難 ★夜は、定められた小学校へ行く ★食料が心配な場合、自宅の安全が確認されたら取りに帰る ★歩くための情報の確認 ★非常持ち出し袋を持ち出す ★家族と一緒に行動し、避難場所に避難 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★食べ物が配られる場所に行く ★身内に安否を連絡する ★携帯の連絡伝言板を試してみる ★飲食物食料の確保 ★トイレの有無を確認 ★生理用品の確保 ★水、食料、排泄の心配 ★医薬品の有無の確認 ★家族の写真を持っている ★自分のできることを手伝う ★家が壊れても取り出せるように外の物置に水、食料を入れて置く ★携帯電話で確かめる ★食料等の点検 ★人の手を借りなければならぬ場合を考える ★水食料確保状況の確認 ★季節により衣類寝具を確保 ★家等が壊れていないかを確認する ★老介護施設利用
共 助		<p>【近隣の人に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★隣近所へ声掛け安否を確認する(4件) ★近隣の状況を確認し支援の必要があれば応援を求め手助けをする(3件) ★近所の独り暮らし、高齢者に声を掛け共に避難する(3件) ★幼児抱えるの親子へも心配りをする(2件) ★足元の危ない人の対策が必要 ★地域の助け合いマップに沿って声をかけ、共に避難する ★これから近隣の人たちと災害時について話し合いを持ちたい ★同じ班の方の家族構成が分かっているので見当たらない人がいたら声掛けに行く ★けが人がいたら助ける、手におえなければ助っ人を連れてくる ★家の周囲の安全が確認後、近隣と声を掛け合う <p>★家の周りの状況(出火や身動きで出来ない人等力をかせる所は無いか)を確認</p> <p>★病人や要援護者の状況を確認する(薬、車椅子や、体調面等)</p> <p>【地域に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★水を入れられるものに水を張る出火に備える ★火の手が上がったら消火に協力する 	<p>【向こう三軒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★自分に余裕があれば出来る事をやる ★ご近所の安全確認を話し合っよいか悪いか ★ご近所の方々と話し合いをします ★赤ちゃんのいるお宅など知っている範囲で声を掛け合う ★小グループを作り、情報を共有する ★近隣の安否確認の後子供をどの様にすれば良いのかそこで決める ★避難困難者に協力する ★周囲と協力し、避難所へ避難する ★車椅子があつたらいいな ★大丈夫ですか声をかける ★自宅に居るのが心配の方は、班長、自治会長等と連絡を取り最良と思われる方法を取る ★ご近所の人あまり知らないで、普段から挨拶しておく ★声を掛け合い安否を掛け合い ★先ずは両隣・上下の人を訪ね声をかける必要があれば協力し合う ★下に障害を持つ人がいるので手伝う <p>【組織的なこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★各班の班長同志連絡し合い、自分の班の様子を確認 ★自治会で支援者を決める取り組みをしているので、それに沿って行動する ★皆で協力して班長さんを中心に情報、物品の受け渡しをしよう ★現在のところ自力で動ける人が全員なので班長さんを中心として声掛けをして全員無事を確認する ★地域の手順はハッキリ周知されていないと思う ★マンション内で責任者を決めて報告し、地域の責任者へ連絡する ★自治会の名簿を確認にしてご近所の場合は声掛けして異所に避難する ★住好支え合いマップに沿って行動する ★若い国大生にお願いしたい ★ご近所さんへ必要な援助を行う(助け合いマップを参考に) ★班長さんの指示に従って、家族及び支援物資の手伝いをする
	3分後	3時間後	3日後